

龍谷の教育

No.148

2018.Autumn



〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>

青団優勝!





お陰さまの人生
教頭 古賀昭雄

子供の頃は遊びに夢中で毎日が楽しくて、悩んだりすることなんてなかつたように思う。蟬とり、魚とり、鬼ごっこ、コマにメンコ。悩んだことがあつたとすれば、遊ぶ時間が足らないことだつたかもしれない。とにかく遊んではばかりの幼少期を過ごした。

ところが成長するにつれ、勉強のこと、部活動のこと、進学のことで悩んだものである。もちろん恋も。これらは私だけでなく誰もが悩んだことに違いないのだが、19歳の終わりに祖父が亡くなつた。そして2ヶ月後に今度は祖母が亡くなつた。両親が共働きだったので、小さい頃は隣に住む祖父母の家で多くを過ごした。祖母の作るカレーは甘くて美味しく私の大好物であつた。テレビも我が家にはまだなく、祖父の側に座り祖父を見る番組だけを見たものだ。小さいころ相撲に詳しかつたのはそのために違いない。

祖父は86歳、祖母は83歳で、寿命だと言われた。40年前のことであるので長生きである。人は歳を取れば死んでいく。頭では分かつていたつもりだつたが、初めての身近な人間の死は衝撃的なものであつた。人は死に、そこからいなくなると。

祖父母の死から3年後、母が亡くなつた。祖父母の死は高齢であつたので仕方がないと思えたが、母の死は違つた。

子供の頃は遊びに夢中で毎日が楽しくて、悩んだりすることなんてなかつたように思う。蟬とり、魚とり、鬼ごっこ、コマにメンコ。悩んだことがあつたとすれば、遊ぶ時間が足らないことだつたかもしれない。とにかく遊んではばかりの幼少期を過ごした。

ところが成長するにつれ、勉強のこと、部活動のこと、進学のことで悩んだものである。もちろん恋も。これらは私だけでなく誰もが悩んだことに違いないのだが、19歳の終わりに祖父が亡くなつた。そして2ヶ月後に今度は祖母が亡くなつた。両親が共働きだったので、小さい頃は隣に住む祖父母の家で多くを過ごした。祖母の作るカレーは甘くて美味しく私の大好物であつた。テレビも我が家にはまだなく、祖父の側に座り祖父を見る番組だけを見たものだ。小さいころ相撲に詳しかつたのはそのために違いない。

23歳で母を亡くした私は、35歳の時に兄を亡くした。兄は42歳で小さい子どもを2人残して逝つた。死はより身近なものとなり、死ねばどうなる、今考えている自分はどうなる、と死は私を悩ませる最大のものとなつた。

48歳の時に小学校からずつと一緒だった友人がガンで亡くなつた。福岡で数年間ガンと闘う彼の見舞いに行き、髪が抜け落ちた姿を見た。奥さんが部屋を出ると「考えてしまい夜が怖い、眠れない」と彼は言つた。皮肉にも彼のガンを発見し、彼に告知をしたのもまた同級生だつた。医師である同級生は、「さすがに奥さんとあいつへの告知はこたえた」と言つていて。彼は最後は佐賀に帰り、ホスピスに入院をした。私は2回だけお見舞いに行つたが、行くには勇気のいる場所である。なぜなら帰る時の言葉がない。「またね」と言つてもそれは嘘に近いから。結局、車イスでいいからお堀の周りを散歩したい」という彼の思いは届かなかつた。

死ねばどうなる。いまだに私の中に答えはない。ただ言えるのは、私は祖父母のお陰でここにいる。父母のお陰で生きている。祖父母も父母も兄も、心の中でずっと寄り添つていてくれている。いつかまた逢える日を楽しみにしている。毎日毎日を大切に生きていく、こうと思う。父は80歳まで生きた。私は何歳まで生きるのだろう。

高校を仏教、大学をキリスト教の宗門校で過ごした。様々な寺社仏閣や史跡を巡つて、京都での4年間様々な話を聴聞した。その頃はただ聞いていたが、今になって思い出されることがある。

「朝」という漢字の話。「朝」という字は「十月十日」でできている。十月十日とは赤ちゃんがお母さんのおなかの中にいる時間。毎朝毎朝、生まれたその日のよう日に1日1日を新しいのちとして過ごしていきなさい。

人はいつか死ぬと頭でわかつていても、生きていることに慣れてしまつてその「いつか」を忘れがちになる。しかし、私はその「いつか」を3回経験した。思つてもみなれた同級生だつた。医師である同級生は、西日本豪雨、様々な災害の中、「さよなら」も言えずにこの世からひきちらはならなかつた人たちがいることに思ひをはせる。愛する人の往生の際、ただ毎日呼吸をしていただけの日々を送つた。「なぜ?」という答えのない疑問を問い合わせながら。母の突然の往生の際、妹とこんな会話をした。「こんな思い、これ以上の思いをした人たちがたくさんいるんだね……」父が言う。

「お通夜でつらかったろう、きっとかつたろう、と言えなくなつた。ただお厳しいことでした……としか言えんくなつた。」

学生時代、今の自分の状況なんて想像もしていなかつた。それくらいの出来事が起つた。それでも、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震に、西日本豪雨、様々な災害の中、「さよなら」も言えずにこの世からひきちらはならなかつた人たちがいることに思ひをはせる。愛する人の往生の際、ただ毎日呼吸をしていただけの日々を送つた。「なぜ?」という答えのない疑問を問い合わせながら。母の突然の往生の際、妹とこんな会話をした。「こんな思い、これ以上の思いをした人たちがたくさんいるんだね……」父が言う。

「お通夜でつらかったろう、きっとかつたろう、と言えなくなつた。ただお厳しいことでした……としか言えんくなつた。」

しかし、これが簡単そうで難しい。自分で責任をとらない。誰かのせいにする。言い訳をする。嘘をつく。保身に走る。他人に惑わされる。逃げたい。それも人間。でも、そんな生き方はしたくない。私は「自覚」を持つているだろうか。「覚悟」を決めているだろうか。

「人生を楽しませてくれて、幸せにしてくれてありがとう」

(文責・不二見)

同朋

私のいのちはこれからどう生きるのだろう。「朝」を迎える限り、「自覚」と「覚悟」を持つて日々を送りたい。そしていつか：愛する人たちのものへいけるとするならば：こう言つて死にたい。自分のいのちをしつかり生きて。突然の「いつか」が教えてくれたこと、

「人生を楽しませてくれて、幸せにしてくれてありがとう」

「悟り」は「自覚悟」が語源である、という話。「悟り」は難しいけれど、「自覚」、「覚悟」なら少しはわかる。「自分で自分の心を知る」「自分で自分の心を決める」、これが幸せの条件の1つ。

しかし、これが簡単そうで難しい。自分で責任をとらない。誰かのせいにする。言い訳をする。嘘をつく。保身

夏 クラスマッチ

7月11日～13日、暑くて熱い夏のクラスマッチが行われました。各学年、各種目ともに大層な盛り上がりで、白熱した試合が繰り広げられていました。中原理絵さん（②千代田）は「負けたけれども、クラスのみんなと仲良くなれて良かった」と語っていました。結果はいかようであれ、クラスの絆をより強固にしたことでしょう。



（文責・石橋）



特進科恒例！夏合宿！

7月28日から2泊3日で、熊本県荒尾市のセキアヒルズにて、特進科恒例の夏の勉強合宿を実施しました。3年生は、現役合格を確実にする夏、2年生は、本格的受験勉強スタートの夏、1年生は高校生の真の学びを体得する夏として、約23時間の長時間学習に挑戦！特進科教員による、特別授業も盛んに実施され、学びの厳しさの中にも学びの楽しさを、全員が体感できた夏合宿でした。

また、寝食を共にする仲間と、更に友情を深め合い、それぞれが違った目標であっても、21世紀の地球を共に支える仲間として、この合宿を契機に「知識を知恵に」「知恵を行動に」新たな決意で出発することができました。

（文責・丸山）



第2回 オープンスクール

8月1日・2日・20日の3日間、第2回オープンスクールが実施されました。連日、大変な暑さではありましたが、体験授業、部活動体験とともに非常に多くの方にご参加いただきました。心より御礼申しあげます。

（文責・石橋）



平和の集い

7月31日（火）の中間登校日に、平和の集いが開催されました。

今年度は西九州大学より横尾美智代先生をお招きして、「おとなたちの戦い、こどもたちのいのち—ネパール内戦を例にして—」という題で、ご講演をいただきました。先生は現在でもゼミ生と一緒に定期的にネパールを訪れ、内戦による貧困や苦しみと向き合っていらっしゃいます。こどもはどうしても厳しい環境の中で弱者となってしまいます。弱者に目を向け、そして何をすべきか、現場での経験を生徒に伝えてくださいました。

（文責・平井）



G-pro 佐賀大学留学生との交流会

平成30年7月19日（木）に特別進学科1年生が、佐賀大学留学生を招いての交流会を開催しました。これは佐賀大学と連携したGlobal Leadership Projectの一環で、留学生たちの出身国の文化に触れたり、研究内容や帰国後の希望などをインタビューしたり、高校生も含めて自分の夢などを英語で語り合ったりするものです。



まず、高校生たちは留学生の出身国の旗を作って歓迎しました。次に留学生に対する歓迎セレモニーを自分たちで企画し、なごやかな笑顔いっぱいのムードをつくりました。その後、8班に分かれてディスカッションを2回行いました。今回の交流会に参加してくれた留学生の出身国はインドネシア、中国、タイ、韓国、バングラディッシュ、リトアニア、フィンランドなど多岐にわたり、その数11にも達する国際色豊かな交流会となりました。



その後、7月26日（木）には、留学生との交流会をきっかけにして考えたことや提言したいことなどを中心にプレゼン発表会を行いました。この会で最優秀賞に輝いたチームは世界及び日本の環境問題について調査し、SDGs（持続可能な開発計画）についても触れながら、環境問題解決への意識を高めることを訴えました。こうした取り組みを通して、生徒たちの視野が世界に向けて広がってくれることを期待します。

（文責・陣内）

PBA留学体験記

龍谷高校特別進学科3年生の志佐悠さんが、この夏、龍谷総合学園の姉妹校でハワイにある高校PBA（Pacific Buddhist Academy）で短期留学を体験しました。これは龍谷総合学園の新しい企画で、国内の姉妹校24校から約20名の留学生を募集したものです。その審査に合格した志佐さんは、ハワイで過ごした日々を次のように報告してくれました。

「私は8月2日から9月15日までの約6週間、ハワイにある姉妹校のPBAに留学するチャンスをいただきました。留学前に想像していたハワイと、自分の目で実際に見てきたハワイの違いにとても驚きました。ハワイでは雨が降ったり、止んだりと思っていたよりも天候が変わりやすかったです。そのおかげでほとんど毎日、大きくて色鮮やかな虹を見ることができました。

PBAでの勉強はとても難しかったのですが、クラスメイトがみんな優しくて、私が分からないところをていねいに教えてくれたので学習内容の理解が深まりました。

休日にはホストファミリーや学校の友だちといろいろな所に行きました。ショッピングセンターやビーチ、水族館などでたくさんの思い出をつくることができました。



最初のうちは、自分の英語力はこの程度なのかと残念に思うこともありましたが、次第に上達し、自分でも満足のいく程度に英語での会話がスムーズにできるようになりました。ハワイでは英語を通して、多くのことを学び、多くのことを体験することができました。PBAでの留学経験を活かすためにも、今後は交渉力を磨き、もっと多くの人たちと交流しながら多くの文化を学びたいと思います。」



（文責・陣内）

English Camp ~楽しかった国内留学体験~



平成30年8月7日(火)から8月9日(木)までの3日間、ネイティヴスピーカーがコーチとして係る英会話講座を15時間(50分×15コマ)体験するEnglish Campが龍谷高校で行われました。もちろん、この3日間はAll English(オールイングリッシュ)です。今年度は、特別進学科1年生(27名)と応募による文理コースや総合コースの生徒たち(9名)、合わせて36名が3つのコースに分かれて意欲的に活動しました。

3つのコースのうち、2つはIntermediate(中級)コースでした。このコースの目標は個人によるShow & Tell(宝物紹介)のプレゼンです。実物や写真、絵などを見せながら、自分のお気に入りの品物やペット、思い出などを英語で紹介するものです。最終日には、全員がとても上手に、また効果的なスピーチを行いました。

Advanced(上級)コースでは、2つの目標がありました。個人によるMy Future Dream(自分の将来の夢)のプレゼンとグループによるIntroduction of Japanese Culture(日本文化紹介)のプレゼンでした。最終日には、全員が将来の夢を具体的に述べるとともに、その理由を明確に提示したすばらしいスピーチを行いました。グループプレゼンでは、ストーリー立てでユーモアにあふれ、分かりやすい日本文化の紹介が好評でした。

English Campは英語の4技能:リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングが知らぬ間に高められるよう構成されており、プレゼンだけでなくゲームや歌、スキット、ディスカッションなど多様な活動を通して笑い声の絶えない楽しく充実した時間となりました。最終日にはコーチから修了証書が与えられ、生徒たち一人一人に励ましの言葉が添えされました。

この3日間のEnglish Campを通して生徒たちの英語力及びチャレンジ精神が高まり、「間違いを恐れない」雰囲気が生まれました。来年度もより多くの生徒に参加してもらいたいと思います。(文責・陣内)



アメリカの高校生が龍谷高校で体験入学

平成30年6月18日から7月17日までアメリカの高校生、ギルモア・アシュリン世礼那さんが龍谷高等学校特別進学科1年A組の一員として日本での高校生活を体験しました。アシュリンさんは龍谷中学校3年生の英語の時間にもゲストとして参加してくれて、生徒による「日本文化紹介」プレゼンに関して英語で質問をしてくれました。

アシュリンさんは龍谷高校で過ごした約1ヶ月間を振り返っての感想を日本語で次のように書いてくれました。

「(私の母が日本人なので)私は幼稚園の頃から日本へ帰省するたびに、小学校や中学校で体験入学をさせてもらいました。しかし、高校は入学試験があるので、体験入学は無理だと聞いていました。でも、今回龍谷高校から体験入学の許可をいただき、とてもありがとうございました。」

私がこの一ヶ月間、日本での高校生活を経験して、アメリカの学校と特に違うと気づいたのは、クラスの雰囲気です。日本では一つのクラスごとに授業の時間割が同じですが、アメリカの高校は一人一人の時間割が選んだ授業により違ってきます。そのため、日本ではクラスメートとすごく仲良くなれる機会が多く、私のように短期間でもすぐにクラスの人と仲良くなれました。学校が終わってからも、友達と会う時間も持っていました。反対に、アメリカでは次のクラスに行くたびに人が変わるので、なかなか新しい友達ができません。龍谷では、クラスマッチがあったり、お弁当の時間の後に昼休みもあったりするので、クラスの人と過ごす時間が多くて、とても楽しかったです。

私は将来何をするかまだ何も決めていませんが、日本での体験入学の経験を生かした仕事をしたいと思います。皆さん、楽しい時間をありがとうございました。」

異文化の中での高校生活を通して成長したアシュリンさんはアメリカへ帰国後も、自分の夢に向かって頑張っていることでしょう。龍谷中学校・高等学校の生徒の皆さんも自分の夢への挑戦を続けていきましょう。

(文責・陣内)



2018 龍高祭

千祭一週 せんざいいちぐう



その後2年生はアミューズメント、3年生は飲食模擬店を実施し、さらに校内は文化祭一色となりました。生徒会もステージイベントを中心に、一人一人が楽しむことができる文化祭となつたようです。



6日(木)は体育祭が開催されました。天候も良く、各団ともに白熱した競技が続きました。各団が夏の間一生懸命に作りあげたマスコットやパネルなど、生徒の頑張りが光る1日でもありました。何と言っても見せ場は全競技終了後に行われる「最終演舞」。2学期が始まる前から地道に準備を続けてきて、いよいよ最高の舞台で、最高の仲間たちと、素晴らしい演舞を見せてくれました。

2018 龍高祭も、多くの生徒の心の1ページに刻まれたことでしょう。



金賞 **(県代表)**

- ◇銀賞
- ◇第42回佐賀県高等学校音楽コンクール(8月16日)
佐賀市文化会館中ホール
- ◇第63回九州吹奏楽コンクール(8月26日)
佐賀市立劇場コンサートホール
- ◇第59回佐賀県吹奏楽大会(7月22日～25日)
佐賀市文化会館大ホール
- ◇第17回岐阜女子大学全国書道展(9月23日)
(8月3日)

金賞

- 。バート
- 。バート
- 。バート
- 。バート
- 。バート

(県代表)

吹奏楽部

秀作 準特選 特別賞(推薦) 特別賞(協会賞) 優秀賞 大学賞 第17回岐阜女子大学全国書道展(9月23日)

。秀作	。準特選	。特別賞(推薦)	。特別賞(協会賞)	優秀賞	大学賞	。秀作
。准特選	。特别賞	。特别賞	。特别賞	。優秀賞	。大学賞	。准特選
田中いつき	久米ひなの	久米ひなの	久米ひなの	嘉村百華	嘉村百華	田中いつき
権島奈那子	小副川奈那子	小副川奈那子	小副川奈那子	牟田早希	牟田早希	権島奈那子
鬼塚菜穂	片江未来	片江未来	片江未来	嘉村百華	嘉村百華	鬼塚菜穂
●①龍谷	●②富士士	●③佐大附属	●④佐大附属	●⑤佐大附属	●⑥佐大附属	●⑦佐大附属
○①龍谷	○②東与賀	○③東与賀	○④東与賀	○⑤佐大附属	○⑥佐大附属	○⑦佐大附属
△①龍谷	△②東与賀	△③東与賀	△④東与賀	△⑤佐大附属	△⑥佐大附属	△⑦佐大附属
○①龍谷	○②東与賀	○③東与賀	○④東与賀	○⑤佐大附属	○⑥佐大附属	○⑦佐大附属

書道部

1回戦 津西高校 龍谷 23-1 武雄

◇第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会(9月16日・22日・23日) 唐唐



女子バスケットボール

全力。チーム龍中！

中学校

行事もりだくさんの2学期 龍中生は大忙し！

完全燃焼！～Show the Spirit～

～第23回体育大会～

9月1日（土）、第23回体育大会が開催されました。今大会のテーマは「完全燃焼～Show the Spirit～」。全員が全力を出し切って最高の体育大会にしたい、またいつも支えてくださる方々に龍中魂を見せてもらいたい、という思いから設定されました。

当日はあいにくの雨模様で体育馆での開催となりましたが、生徒たちは悪天候をものともせず、元気いっぱい体育馆を縦横無尽に走り回っていました。赤団32名・白団32名と、数こそ高校には及びませんが、生徒ひとりひとりを紹介する競技や、保護者対中学生の綱引き、保護者と共にゴールを目指す競技などもあり、龍谷中らしいアットホームな雰囲気の中、たくさんの笑顔と感動に包まれた特別な体育大会となりました。

《生徒感想》

- ・赤団も白団もどちらも個性が出ていて、龍中生みんなが楽しめた体育大会だったと思います。また、2年後は自分も3年生のようみんなをまとめて引っ張っていきたいです。
- ・1・2・3年生の団結力が強いということに改めて気づきました。そして、ひとりひとりが一生懸命やったからこそ、最後には勝つても負けても涙が出たのだと思います。来年は自分たちが中心となって引っ張っていかなければいけないので、今年の体育大会を超えるようなすばらしい体育大会をつくりたいです。



学び合いを通して知った戦争の恐ろしさ
～平和の集い～

9月4日（火）・5日（水）の2日間、全校生徒合同で平和学習を行いました。来年3月に校外研修で知覧の特攻平和会館を訪れることがふまえ、特攻や少年兵の体験をまとめた映像資料を鑑賞しました。その後は3学年合同の縦割り班に分かれ、「戦時中の生活」や「原爆」などそれぞれに与えられたテーマについて調べ学習を行いました。5日（水）には調べたことをパワーポイントにまとめ、全校生徒の前でプレゼンテーションをしました。

戦争の恐ろしさ、平和の大切さを調べ学習を通してより深く学べました。



異文化を学び、伝統文化に親しんだ一日

～国内英語研修・企業見学・有田焼絵付け体験～



9月6日（木）、英語学習と企業見学の一環としてハウステンボス・イングリッシュスクエアでの英語体験プログラムでは、学年ごとに分かれ、それぞれの習熟度に合わせた体験学習を行いました。1年生では、学習の最後に成績優秀者の発表もあり、名前を呼ばれた生徒は嬉しそうに賞状を受け取っていました。生徒たちにとっては、ネイティブの発音に触れる貴重な機会となつたようです。

有田町の窯元「しん窯」では、有田焼を作る工程や職人さんの絵付け技術を間近で見学し、生徒たちはその技術力の高さと有田焼の美しさに感心していました。また、有田焼の絵付け体験では、それぞれ事前に美術の授業で考えていたデザインの下絵を手に、一心不乱に絵筆を動かす姿が見られました。絵付けした有田焼は、職人さんが仕上げをして窯で焼き、完成した後に学校に送られます。生徒たちは「早く完成した作品を見たい」と口々に話していました。

輝いています!! 龍中生

《運動部門》

第55回佐賀市中学校剣道競技大会

男子団体 優勝 女子団体 3位

男子個人 優秀賞

井上 夏稀

(③長門石小)

岩松 弘将

(②千代田西部小)

只隈 匠

(②藤吉小)

小川 侑也

(③青島小)

舞 (③有田中部小)

女子個人 優秀賞

井口 芽衣

(②下妻小)

男子団体 2位

男子団体 ベスト8

女子団体 3位

第48回九州中学校剣道競技大会

男子団体 優勝

女子団体 優勝

男子個人 敢闘賞

井上 夏稀

(③長門石小)

女子個人 優秀選手

東堂 陽葵

(③大原小)

福田 舞

(③有田中部小)

第32回芦田旗争奪顕彰剣道大会

男子団体 準優勝

第52回大里八幡宮奉納剣道大会

男子団体 優勝

第6回三瀬旗少年剣道選手権大会

男子団体 準優勝

全国道場少年剣道選手権大会

男子団体 準優勝

第36回中学生女子の部

女子団体 優勝

《文化部門》

第9回佐賀県中高一貫中学校席書大会

奨励賞 北村 彩華 (③北川副小)

第53回弘法大師奉贊高野山競書大会

特選 塚本 豊増

北村 彩華

豊増 里穂

(③旭小)

特選 岡本 千尋

岩野 志穂

塚本 千尋

岡本 志穂

内田 奈々

岩野 奈々

内田 奈々

第40回少年の主張

優良賞 佐賀県大会

ベスト12賞 藤生 一華

(③赤松小)

第70回全日本英語弁論大会

佐賀県大会

深川 礼乃

(②大詫問小)

【場所】 龍谷中学校教室・講堂（振風館3階）
【内容】 6年生でなくても大歓迎です！
どなたでもふるってご参加ください！

龍谷中学校オープンスクールのお知らせ

・第二回 平成30年10月20日（土） 10時～12時

（授業参観・全体説明会）
（入試対策・模擬面接・入試説明）

・第一回 平成30年11月10日（土） 10時～12時

（入試説明会）

【備考】





保育学科



人間コミュニケーション学科 司書・情報コース



人間コミュニケーション学科 映像・放送コース



人間コミュニケーション学科 仏教コース

2018年度“夏”的オープンキャンパスを実施しました。
沢山の高校生の皆さんにお越しいただきありがとうございました。

<個別学校見学（進学相談）のお知らせ>

奇数週（第1・3・5）土曜日の午前中は、事前にご連絡を頂ければ、
学校見学や、個別の進学相談を承ります。（保護者様同伴可能です）
2日前までに、本学入試係までご連絡ください。（TEL 0942-85-1121）

TEL 0942-85-1121

九州龍谷短期大学

鳥栖市

学園だより

佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。詳しく述べは、各学校事務室までお問い合わせください。

LINE@
@k-ryukoku

九州龍谷短期大学のLINEアカウントをご存知ですか？

受験を検討されている皆さんに、オープンキャンパスやガイダンスの出展情報、入試情報など様々なお知らせをお送りします。
「九州龍谷短期大学」で検索後、ぜひ「友だち追加」してください。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園



トンネルの中から「ばあ～」(0歳児)



みんなでよーいどん！(2歳児)



避難車に乗っておさんぽ「お外きもちいいね」(1歳児)

葉っぱの色付き方は
それぞれ違つて
いる
けれど秋の木々は、
すてきです。

気持ちをあわせて、リズムを合わせて
鼓隊演奏に取り組んでいます(5歳児)

自分で好きな絵本を選んで各家庭へ持ち帰ります(4歳児)



ハサミを使って、一生懸命切っています！(3歳児)

今、マイブームの遊びベスト1

0歳児→トンネル遊び「ばあ～」と出てきます

1歳児→先生と一緒に真似っこダンス

2歳児→かけっこ遊び

3歳児→どんぐり探し

4歳児→バナナ鬼ごっこ

5歳児→ドミノ遊び